

「福山市立大学 大学案内 2028 作成業務」に関する要望書

1 必須要件

- (1) 提案にあたっては、現行のものよりも文章量を大幅に削減するとともに、視覚的イメージを用いて、フォントサイズを大きくするなど、要点を絞った読みやすい構成とすること。
- (2) 詳細情報や最新情報については、QR コードにより大学サイトへ誘導すること。
- (3) 各学部の基調カラーは、教育学部はピンク系、都市経営学部は青系、情報工学部（仮称・設置届出中）は緑系とすること。

2 望ましい要件

次に記載する事項は、すべてを網羅することを要求するものではないが、提示した要望を踏まえた提案を行うことを期待するものである。冊子全体のまとまりや読みやすさを重視しつつ、可能な範囲で提案内容に反映すること。

(1) 全般

ア 全体的な構成

- ・網羅的に情報を掲載するのではなく、要点を絞って大学の魅力を伝える。
- ・文章による説明だけでなく、視覚的に大学の魅力が読み取れるようにする。
- ・フォントサイズ、フォント色等、ユニバーサルデザインに配慮した体裁とする。

イ コンテンツ

- ・概ね次のとおりとし、内容の詳細については提案すること。提案内容によってはこの限りではない。
- ・複数のコンテンツをまとめる（例：学部学科紹介の中で就職先等の情報を掲載する）等の提案も可能。
- ・その他広報の効果が高いと思われる内容があれば、独自の提案をすること。

大学の使命、教育研究の理念・特色、学部学科紹介、研究科紹介、入試情報、学費・福利厚生、就職先・就職率、在学生の声、卒業生の声、地域連携、国際交流、キャンパスマップ、アクセス
--

ウ コンテンツについて補足

- ・本学のキャッチフレーズである「知は明日を開く」(WISDOM OPENS UP TOMORROW) を取り入れる。
- ・写真の多用や明るいデザインにより、大学生活の活気や魅力が伝わるものとする。
- ・各学部のカリキュラムや4年間の学び、卒業後の社会での活躍について、視覚的に時間の流れを感じられるとともに、受験生が大学での自分の姿を想像できるような構成とする。
- ・学生が活動する様子を示し、受験生に憧れの学生像を提示する。

- ・地域連携の紹介ページでは、学生が関わった商品開発（押し天、お手福、ばらうどん等）を掲載する。
- ・本学の前身である福山市立女子短期大学創設当時の歴史的な写真を用いて、本学の伝統を伝える。
- ・高校生の興味・関心を高めることを目的として、大学の近隣の居心地の良いスポットを紹介する。（例：福山城、鞆の浦、ばら、iti SETOUCHI、ローズコム、大型商業施設等。特定の民間企業の宣伝にならないように留意する。）

エ 写真

- ・大学生活の楽しさが伝わる写真を使用する。
- ・大学生活が迫体験できるような動きを感じられるレイアウトで掲載する。

(2) 表紙、裏表紙

- ・大学生活の活気や楽しさが伝わるような明るいデザインにする。
- ・他大学の大学案内との差別化を意識する。

(3) 学部学科紹介ページ

ア 全体

- ・自然なスナップ写真で活気あるゼミ活動風景を提示し、動的でリアルな大学生活を伝える。
- ・4年間の学びと実習の流れを見開きで掲載し、カリキュラム全体像を視覚的に把握しやすくする。
- ・在学生の生の声を掲載する。
- ・真面目でしっかりした学生を取り上げ、受験生やその保護者に安心感を与える。

イ 教育学部

- ・実地体験や保育所、小学校等での子どもたちとの交流風景を掲載する。
- ・本学の前身が福山市立女子短期大学であり、本学が保育者養成の老舗で、伝統があることを示す。
- ・「学術の日」や「実地体験活動」を独立した特色あるトピックスとして扱う。
- ・教員採用試験の合格率や就職率、実地体験活動回数を示し、数値によって具体的な魅力を伝える。
- ・ページをめくることで大学生活の時の流れや成長を感じさせるようにする。
- ・実践現場において保・幼・小連携が求められている中、将来必要とされる連携の基礎を育んでもらうため、本学では、免許状取得に関係する「教育学関連科目」及び「保育学関連科目」を除き、コース別に明確に区分しないカリキュラムを編成している。この教育の特色が十分に伝わるよう、掲載内容についても、コースごとに完全に分離した構成とならないよう配慮する。

ウ 都市経営学部

- ・ 本学のキャッチフレーズである「キャンパスは街」を実践する地域での活動を紹介する。
- ・ 実習や地域連携活動では、写真や図を用いてページの半分以上をビジュアル化する。
- ・ 研究内容や地域連携の実績を示す。
- ・ 就職先や就職率（地域企業、公務員）を示し、大学進学への安心感を与える。
- ・ 卒業生や在学生の活動（社会人の活躍、企業・地域とコラボ）を紹介する。

エ 新学部(情報工学部)

- ・ 2026年6月中旬に発行される新学部に関する冊子、及び大学ホームページに掲載中の新学部のランディングページを参考に、今後の掲載内容の拡充について考慮した構成とする。
- ・ 他大学の情報系学部の大学案内等の事例を踏まえ、カラー構成、デザイン、コンテンツ内容について、多様な観点から複数の提案を行う。
- ・ 情報工学部の初年度は写真・図版等の素材が十分に揃わない可能性があることから、有料素材の活用を含め、伝わりやすく効果的な誌面となるよう工夫するとともに、年次進行に伴った掲載内容の拡充についての提案を行う。
- ・ 新施設を現在建設中であり、2027年2月に竣工予定である。可能な範囲で施設の写真撮影を行い、大学案内へ反映する。
- ・ 地元企業や社会との連携による教育・研究の特色を積極的に紹介し、受験生に対して本学への進学意欲と将来の就職への安心感を高める情報発信とする。